

アークフラッシュ施工された老人施設 7年間インフルエンザの発症が報告されておりません。

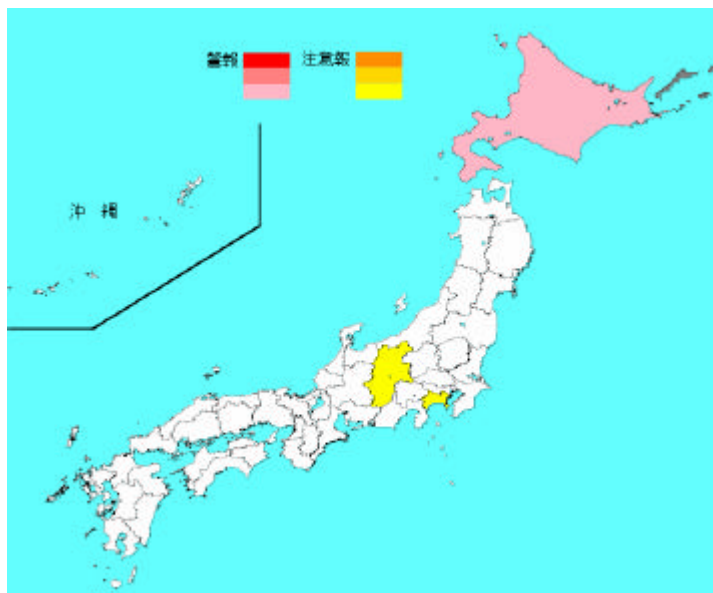
< * > <http://www.arc-flash.co.jp> **アークフラッシュNEWS をダウンロードによりご覧頂けます**

<< インフルエンザ情報 >>

インフルエンザ患者の報告数が増加し、記録的に早く11月中にも全国的な流行が始まる見通しとなったことが27日、国立感染症研究所のまとめで分かった。1987年以降では最も早い。厚生労働省などは早めのワクチン接種や、せき、くしゃみの飛沫（ひまつ）を周囲に飛ばさない「せきエチケット」を呼び掛けている。同研究所によると、今月12日から18日までの1週間に全国約5000の定点医療機関から報告された患者数は4415人で、1カ所あたり0.94。これが1を超えると全国的な流行開始となり、25日までの週に超える可能性が高い。例年の流行入りは12月中旬以降で、昨シーズンは1月中旬と遅かった。

京都市は26日、府内で今季初のインフルエンザウイルスを検出した。昨季より13日遅い。一般的に1年半ばに流行のピークを迎えるとされ、市地域医療課は、予防を呼びかけている。市内3病院が協力する感染症発生動向調査で14日、南区の男性（62）から「咽頭（いんとう）ぬぐい液」を採取。市衛生公害研究所がインフルエンザウイルスB型を検出した。男性は受診時、38度の熱があり、のどの炎症などの症状がみられたという。同ウイルスには他にA型もあるが症状は同様という。府によると、昨年府内初検出は11月13日で、ここ数年は11月～翌年1月となっている。

長野県と中野市は26日、同市立平岡小学校（寺島洋子校長）の4年生がインフルエンザに集団感染したと発表した。県内での集団感染は今季初めてで、例年よりも約2カ月早いという。同校では27日は4年生のクラスを閉鎖することを決めた。同市学校教育課などによると、全校児童267人のうち、32人がインフルエンザに感染。4年生は34人の中のうち、18人が発熱やせきなどで欠席し、15人はインフルエンザの症状を示したという。県健康づくり支援課は「インフルエンザの流行は例年よりも1カ月ほど早い。うがいや手洗いを励行してほしい」と呼び掛けている。



インフルエンザMAP 2007.11.20

<< 施工報告 >>



* 発行責任者 株式会社アークフラッシュ本部
笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 sasagawa@arc-flash.com
過去のアークフラッシュNEWS はホームページよりご覧になれます。